

経営健全化方針に基づく取組状況（令和 6 年度）

○法人名 小矢部市土地開発公社

○経営健全化方針を策定した理由

第三セクター等の経営健全化等に関する指針の「地方公共団体が多大な財政的リスクを有する法人」に該当したため。

○財政的リスクの状況

単位：千円

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
債務保証の対象となっている保有 期間 5 年以上の土地の簿価総額 (A)	2,349,591	2,251,484	2,153,398	2,055,860	1,958,323
債務保証の合計額(B)	2,430,892	2,322,374	2,206,802	2,091,229	2,050,745
標準財政規模(C)	8,668,393	9,166,306	8,929,323	8,937,005	9,246,125
実質赤字比率の早期健全化基準	13.59%	13.48%	13.53%	13.53%	13.48%
(A)/(C)	27.1%	24.6%	24.1%	23.0%	21.2%
(B)/(C)	28.0%	25.3%	24.7%	23.4%	22.2%

○主な取組状況

・経理管理（収入・支出）の見える化

東部産業団地事業に係る収支について、一般会計と区別して管理し、収入と支出の状況について見える化を図るとともに、公社の財務諸表等について地方自治法に基づき、監査委員による監査を経て議会へ報告した。

・債務残高の着実な縮減

市は、東部産業団地事業用地について、引き続き計画的に買戻しを進めた。公社は、この売却収入により計画的に借入金の償還を進めた。なお、令和 7 年 3 月に借換えを行った長期借入金の利率が従前の長期借入の利率を上回ったことから、債務残高が増加した。

・東部産業団地周辺への民間投資の喚起

商業施設などが立地しやすい環境の整備や企業誘致を推進してきたことにより、東部産業団地の周辺に商業施設の進出が進んでいる。令和 5 年度には、新たに物流センターが稼働し、引き続き企業誘致に取り組んだ。

○法人の財務状況

単位：千円

貸借対照表から	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	資産総額	2,376,854	2,278,639	2,168,223	2,070,785	1,973,388
	（うち現預金）	27,264	27,155	14,826	14,925	15,065
	（うち公有用地）	2,349,591	2,251,484	2,153,398	2,055,860	1,958,323
	（うち未収金）	0	0	0	0	0
	負債総額	2,361,981	2,263,894	2,153,398	2,055,860	1,958,323
	（うち現預金）	0	0	0	0	0
	（うち短期借入金）	0	0	0	0	0
	（うち長期借入金）	2,361,981	2,263,894	2,153,398	2,055,860	1,958,323
	純資産	14,874	14,745	14,826	14,925	15,065

単位：千円

損益計算書から	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業収益	123,200	122,200	121,500	115,800	117,100
	事業原価	98,227	98,236	98,214	97,666	99,721
	経常利益	24,973	23,964	23,286	18,134	17,379
	事業外損益	25,099	24,093	23,205	18,035	17,239
	当期純利益（損失）	△ 127	△ 128	81	99	140

※数値は単未満を四捨五入しているため、計算結果と相違する場合がある。